

現計画(方針編)の構成

§1 計画策定の背景

- 1 札幌市の地理的な特徴
- 2 出没傾向
- 3 ヒグマの習性とあつれきの状況について
- 4 これまでのヒグマ対策
- 5 札幌市ヒグマ対策委員会と出没対応
- 6 ヒグマ出没対策における現状と課題

§2 計画の基本事項

(目的・期間・位置づけ)

生物多様性の保全を前提に、ヒグマとのあつれきを軽減することで、市民生活の安全の確保を図りながら、ヒグマとの共生を目指す

§3 計画の目指す姿

- 1 被害の防止とあつれきの軽減
- 2 市民のヒグマへの意識及び理解の向上
- 3 侵入抑制策の推進

§4 取組の基本方針

- 1 出没個体の有害性と出没ゾーンに応じた出没対応と未然防止
- 2 市街地への侵入抑制
- 3 生息環境管理
- 4 調査研究、モニタリング及び普及啓発
- 5 危機管理体制の整備及び関係する計画との整合

§5 取組推進のための方策

§6 役割と主体について

- 1 市委員会及び区委員会の体制
- 2 各主体での連携

§7 計画の推進に向けて

- 1 計画の普及啓発
- 2 調査研究と計画の見直し

改定計画の構成案

§1 計画策定の概要

- 1 札幌市の地理的特徴
- 2 出没傾向
- 3 札幌市の体制
- 4 これまでのヒグマ対策
(1) 第1期計画策定前まで
(2) 第1期計画策定後から現在まで
- 5 ヒグマ出没対策における現状と課題
(1) ヒグマ出没時の体制・連携強化、より確実な情報発信手法の確立
(2) 市街地侵入抑制策の全市への拡大・充実化
(3) 市民一人ひとりの意識の向上

§2 基本計画の概要

(目指す姿・期間・位置づけ)

計画の目指す姿

「人とヒグマが幸せに暮らせるまち・さっぽろ(仮)」

§3 基本目標

- 1 出没対応を迅速に行い被害の防止に努める
- 2 市街地侵入抑制策のさらなる推進を行う
- 3 市民のヒグマへの意識を醸成する

§3の基本目標達成のため施策を進めていくにあたり、基本的かつ重要な要素であるゾーニングについて整理

§4 ゾーニングの設定

§5 施策の方向性

- | | | |
|------------------|---------------------|------------|
| 1 体制の整備 | 1 緑地管理の拡大 | 1 積極的な情報提供 |
| 2 対応判断の見直し | 2 電気柵の普及促進 | 2 学校との連携 |
| 3 市民への迅速・的確な情報発信 | 3 ICT技術を用いたヒグマの侵入防止 | |
| 4 近隣自治体との連携 | 4 生息調査の充実 | |

§6 施策推進のための方策

資料4に具体例を提示
→おおまかなスケジュールも示したい

§7 役割と主体について

- 1 各主体の役割
- 2 市・対策委員会の役割
- 3 関係機関の役割
- 4 市民の役割

§8 計画の推進に向けて